

## 熱中症対策 グランメッセで「すずんで」 クーリングシェルターに関する協定調印式

7月4日、町は熊本産業文化振興株式会社とクーリングシェルターに関する協定を結びました。  
 県有施設がクーリングシェルターに指定されるのは初めてで、愛称は「すずんで」。「涼んで」と「涼む日(DAY)」を合わせ名付けられました。  
 この協定により、熱中症特別警戒アラートが発表された日の午前9時～午後5時30分、グランメッセ熊本のエントランスがクーリングシェルターとして開放されます(イベント開催時や定休日など使用制限あり)。



「気軽に立ち寄ってもらいたい」と話した田嶋明彦代表取締役(左)

## 未来のサッカー選手にゴールをお届け プロサッカー選手によるサッカーゴール寄贈

6月19日、サッカースペインリーグで活躍する丹羽大輝選手から町に、サッカーゴール4台が贈られました。これは、丹羽選手が日本全国にゴールを届ける「ニワゴールプロジェクト(NGP)」によるもので、本町への寄贈は昨年引き続き2回目です。  
 同日、広崎保育園で開催されたサッカー教室には、ロアッソ熊本の上村周平選手と飯星明良選手、元プロサッカー選手の畑実さんと森川泰臣さんも参加。贈ったゴールを使い、園児たちにサッカーの楽しさを伝えました。



丹羽選手(左)たちの指導の下、ちびっこ選手がナイスシュート!



町役場を訪問した上益城地区保護司会の皆さん

## 社会を明るくするのは地域の力 第75回社会を明るくする運動メッセージ伝達式

第75回社会を明るくする運動メッセージ伝達式が7月8日、町役場で行われ、上益城地区保護司会が内閣総理大臣・県知事のメッセージを町長に伝達しました。  
 安全で安心な暮らしの実現のためには、犯罪や非行をした人自身が罪と向き合うことに加え、立ち直ろうと決意した人を社会全体で受け入れていくことや、犯罪や非行を生み出さない家庭や地域づくりも欠かせません。  
 上益城地区保護司会は7月の運動強化月間に合わせ、地域でこの課題に取り組むための啓発活動を行いました。

## 暑い夏再び スポーツの祭典 第75回上益城郡民体育祭

第75回上益城郡民体育祭が数日にわたり、御船町を主会場として郡内各地で開催されました。5町の23種目の代表が競った結果、益城町は12種目で優勝し、昨年に続き見事総合優勝を果たしました。

【優勝種目】陸上競技/軟式野球/ソフトボール男子/ソフトボール女子/バドミントン/剣道/空手道/弓道/銃剣道/サッカー/ゲートボール男子/ゲートボール女子



低学年は水に慣れる練習 クロールは腕を大きく回して

## 水辺で命を守る特別授業、今年も開催 津森小で熊本YMCAによる水泳特別授業

公益財団法人熊本YMCAによる水泳の特別授業が6月24日、津森小で行われました。今年で13回目となるこの授業では「みんな泳げる25m運動」をテーマに、泳ぐ機会が年々減少している児童たちに、水辺で命を守るための知識・技術を伝え続けています。  
 毎年この授業を受けてきた6年生の児童たちとコーチのウルフリーダー(兼瀬稔宜さん・熊本YMCA)はすっかり顔なじみに。最後となる授業では、6年生たちがこれまでの授業の成果を披露していました。

## 百歳おめでとうございます 木山下辻団地の中村クニエさん

中村クニエさん(大正14年6月10日生まれ)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。  
 おしゃべりが大好きで、人との交流が得意な中村さんは、熊本地震での避難所生活の時もすぐに友だちができたとか。長寿の秘訣はよく食べ、よく眠ること! 長年の精米作業で鍛えた体力のおかげで、100歳となった現在も元気いっぱいに過ごしています。  
 西村町長から表彰状を受け取った中村さんは、誇らしげな表情を浮かべていました。



西村町長から表彰状を受け取った中村さん



Pickup Plus+  
今月のプラス

18ページで紹介した町の新特産品「豆乳ヨーグルトのスムージー」の発表会が、7月15日に東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスで開催されました。開発から今回の発表まで2年以上の歳月をかけ、開発者のこだわりや思いが詰まった逸品となっています。ぜひご賞味ください。